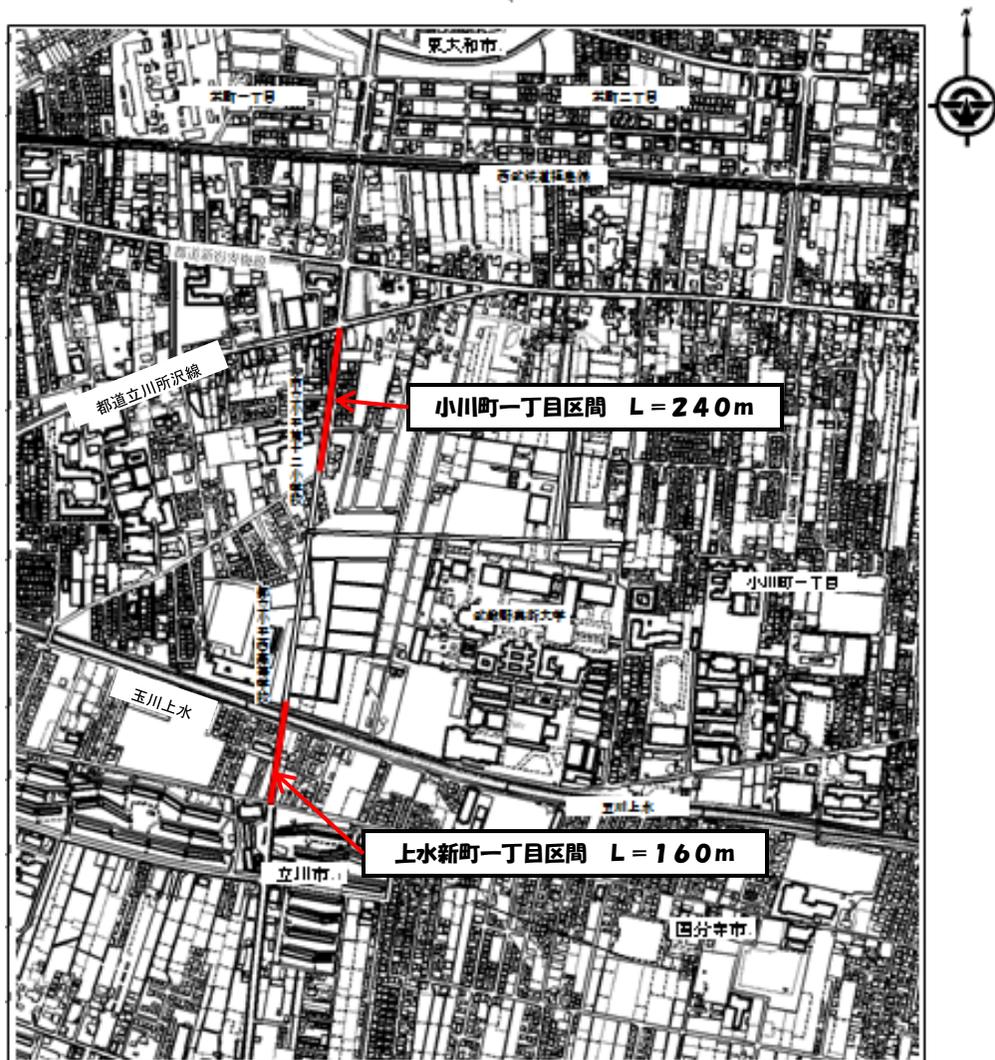


第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

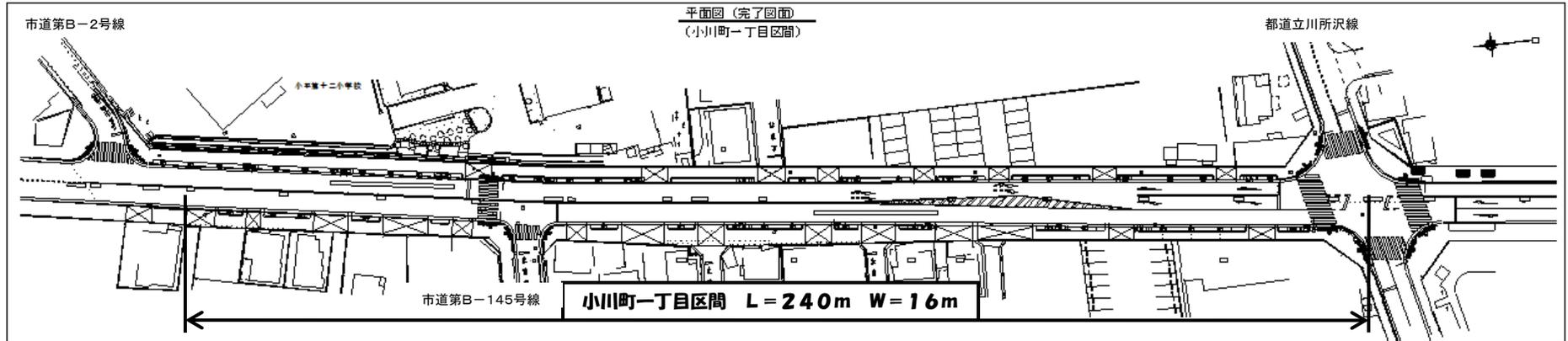
ふりがな 応募者名		とうきょうと こだいらし 東京都 小平市
街路事業	ふりがな 事業の名称	こだいらとしけいかくどうろ ごうくにたちえきやまとせんせいびじぎょう 小平都市計画道路3・4・23号国立駅大和線整備事業
	ふりがな 事業主体	とうきょうと こだいらし 東京都 小平市
	ふりがな 実施都市名	とうきょうと こだいらし 東京都 小平市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長:400m</p> <p>○事業費:16.7億円</p> <p>○幅員:16m</p> <p>○事業期間:平成21年～平成27年</p>
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> 市内の幹線道路として位置付けている本路線の整備により、市西部地区の南北道路の不足を解消し、市内の道路ネットワーク化を図る。 近隣で行われた土地区画整理事業にあわせた都市計画道路の整備により、当該地域の新たな発生交通の処理、及び緊急時の車両交通を確保し、良好な住宅市街地の形成を図る。
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 小平3・4・23号線の全線開通により、道路ネットワーク形成に寄与した。 本路線の整備では、国の史跡に指定されている玉川上水を横断する橋梁について、学識経験者等による橋梁検討委員会を設け、橋梁の構造や景観への配慮手法、法面保護工法を検討して、歴史的景観の維持に努めた。 狭隘な生活道路に流入する通過交通が大幅に減少した。
	定量的効果 (検証済の場合記入)	
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との協働等 事業反対等があったか 合意形成等を図ったか 地域に配慮した点 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 工事着手前に玉川上水の両岸における現況や土層の堆積状況及び遺構の有無を確認する発掘調査を行い、冊子として記録化した。 地元の環境保護団体と調整し、希少猛禽類に配慮して、工事期間を非繁殖期(8月中旬～12月)に制約して施工し、上水新町一丁目区間の植樹帯に高木(6m)を植樹し、バードストライク対策を講じた。 玉川上水の架橋箇所に生息していた希少な植物について、玉川上水沿いに移植を行った。 小学校前の拡幅箇所で、元々歩道が設置されていなかったが、用地買収後は仮設の歩道を設置して完成までの間、児童の安全に配慮した。

事業位置図

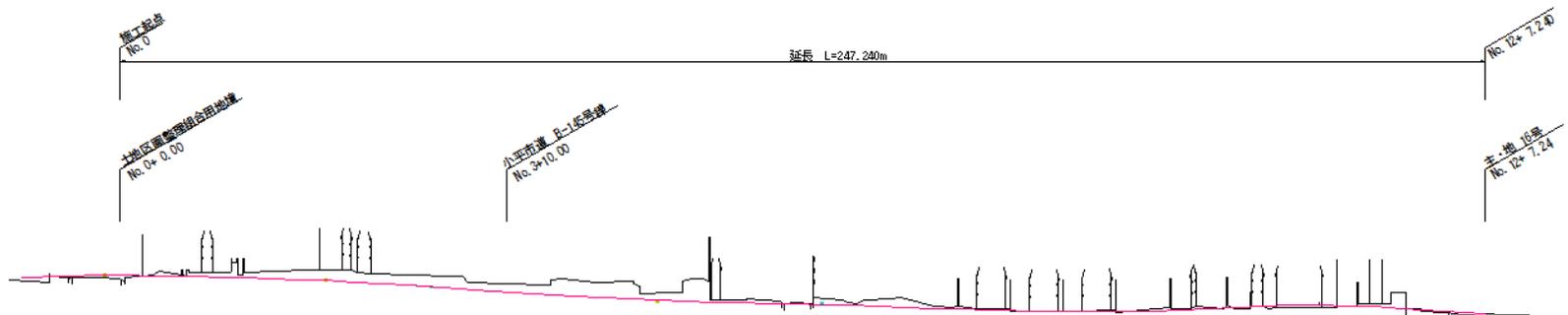


全体図(平面図・横断図・縦断図)

平面図(小川町一丁目区間)

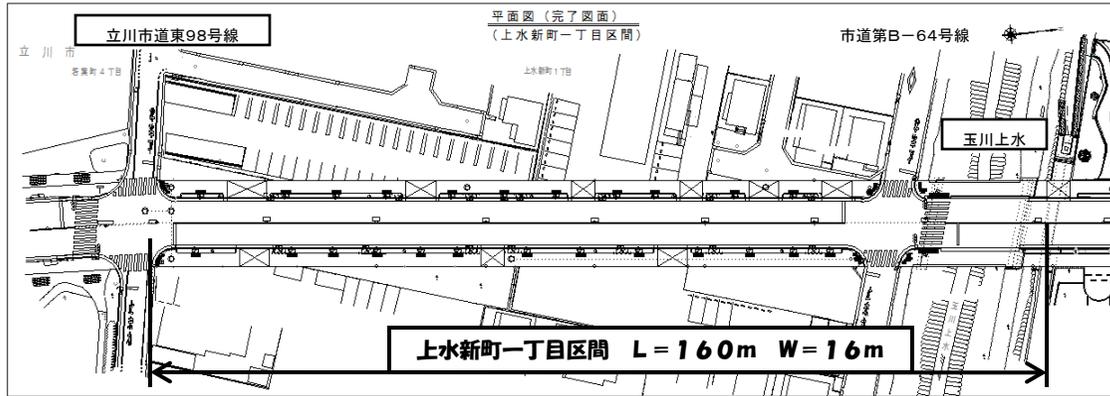


縦断図(小川町一丁目区間)

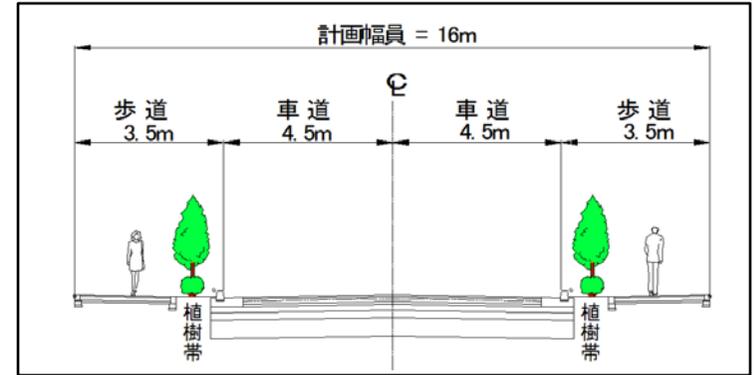


全体図(平面図・横断面図・縦断面図)

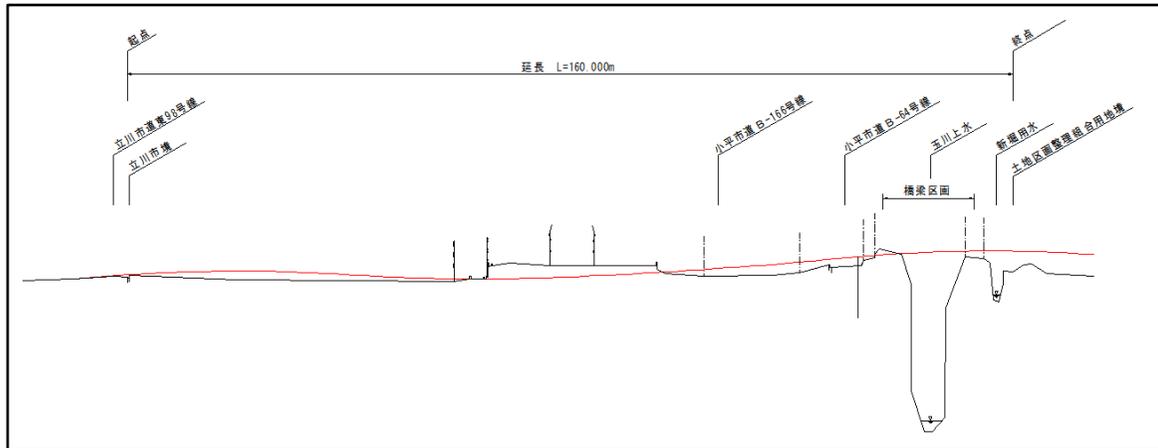
平面図(上水新町一丁目区間)



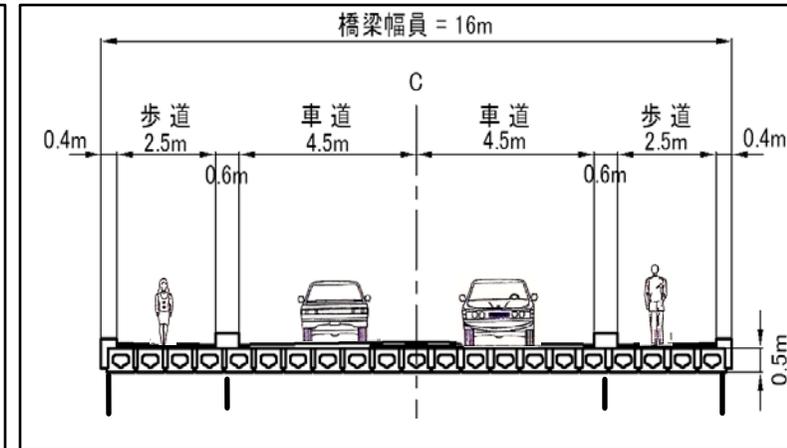
横断面図(標準横断面図)



縦断面図(上水新町一丁目区間)



横断面図(橋梁部)



事業前写真

平成22年2月撮影(玉川上水南側から)



平成24年11月撮影(玉川上水北側から)



平成21年12月撮影(立川通り北側から)



事業後写真

平成28年6月撮影(玉川上水南側から)



平成28年4月撮影(玉川上水北側から)

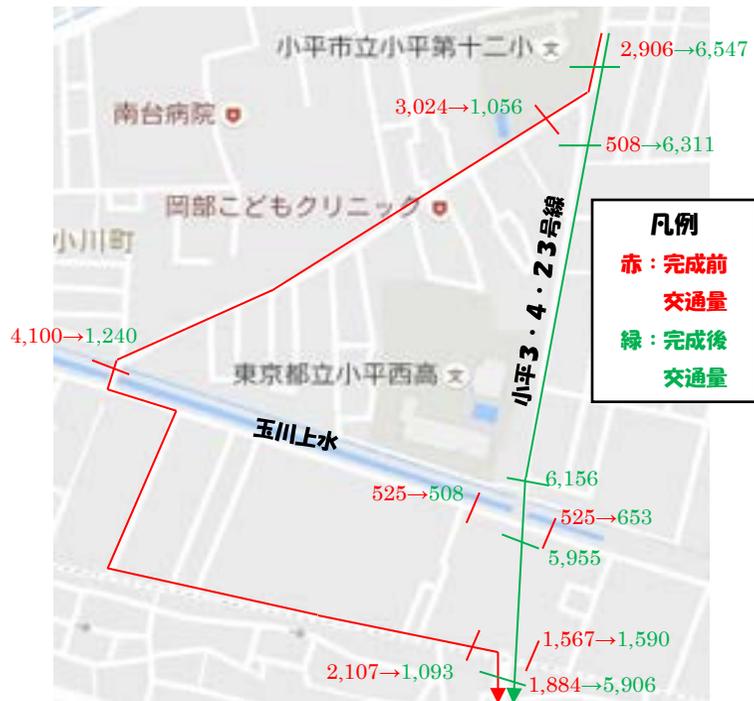


平成28年11月撮影(立川通り北側から)



小平都市計画道路3・4・23号国立駅大和線の整備効果アピール資料

小平3・4・23号線付近の交通量（台・12h）



凡例
 赤：完成前
 交通量
 緑：完成後
 交通量

「史跡 玉川上水」



○交通量調査結果

右図に完成前と完成後の交通量を図示しました。道路の完成前は、通学路でもある赤線の狭隘道路を車が抜け道として利用している状態でしたが、完成後は抜け道として利用する車が激減し、生活道路として安心して利用することができるようになりました。

「整備効果」

- ①隣接している小平第十二小学校の前の道路は事業を行う前は、6mの歩道のない狭隘道路で、すれ違い等危険な状態であったが、今回の事業で幅3.5mの歩道が両側に設置されたことにより、児童が安全に通学できるようになった。
- ②小平3・4・23号全線開通により道路ネットワークの形成に寄与した。
- ③生活道路への通過交通が減少した。

「その他の事業効果」

- ①国の史跡に指定されている玉川上水を横断する橋梁について、学識経験者等による橋梁検討委員会を設け、下記のように橋梁の構造や景観への配慮手法、法面保護工法を検討し、歴史的景観を維持した。
 - ・高欄や歩車道境界柵は史跡玉川上水と調和のとれた形状や色を採用した。
 - ・橋台の基礎杭は史跡の崩壊がないように史跡区域外とした。
 - ・玉川上水の両岸にある緑道と一体になるように歩道部はカラー舗装を採用した。
 - ・玉川上水の法面を覆う形で、現況を壊さずに法面を保護できる連続繊維補強土工を採用した。
- ②玉川上水の両岸における現況や土層の堆積状況及び遺構の有無を確認する発掘調査を行い、冊子「史跡 玉川上水」として記録化した。

事業効果一覧表

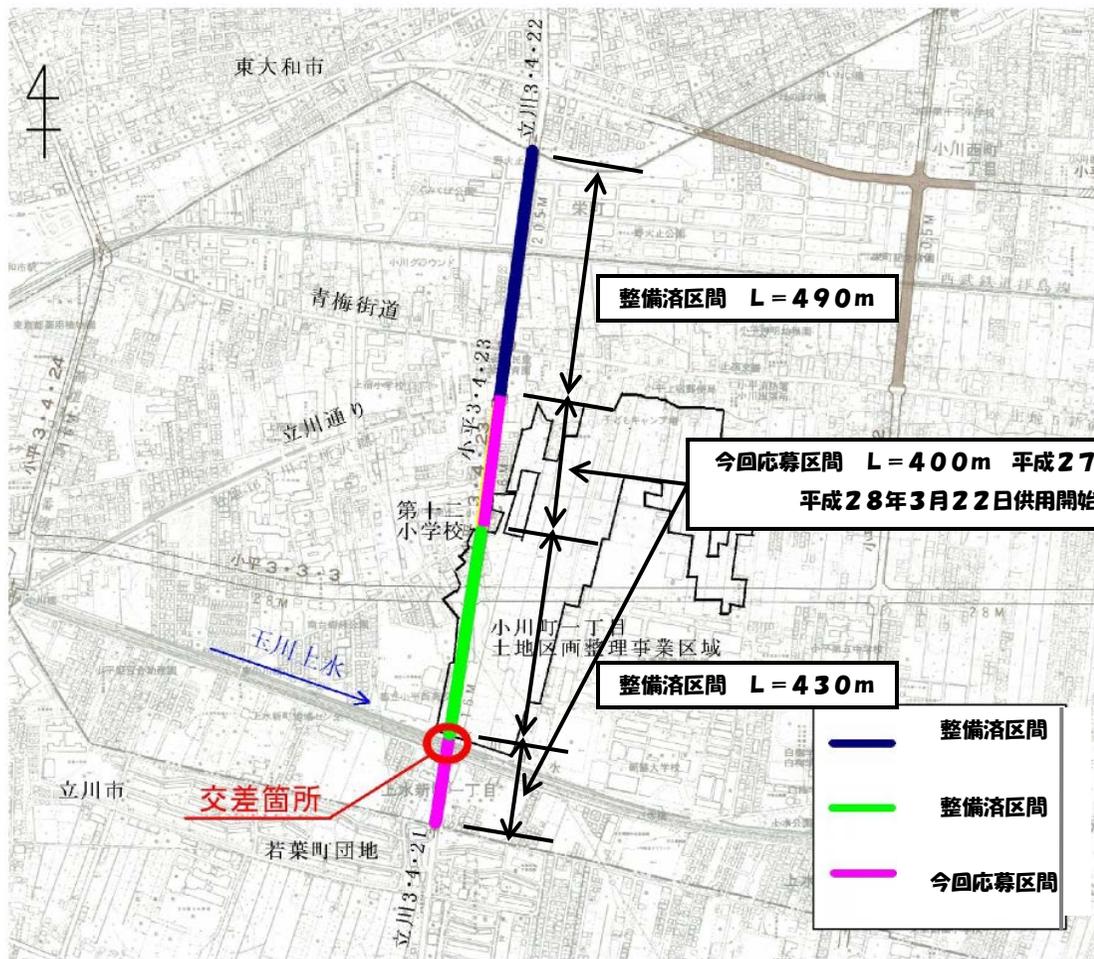
大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。 	◎
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。 	○
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。 	△
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止に寄与した。 	○
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。 	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。 	◎
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。 	○
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化に寄与した。 	○
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。 	○
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境の改善や充実に寄与した。 	○
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。 	○
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。 	◎
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> ・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。 	△
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。 	△

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

路線全体の進捗状況

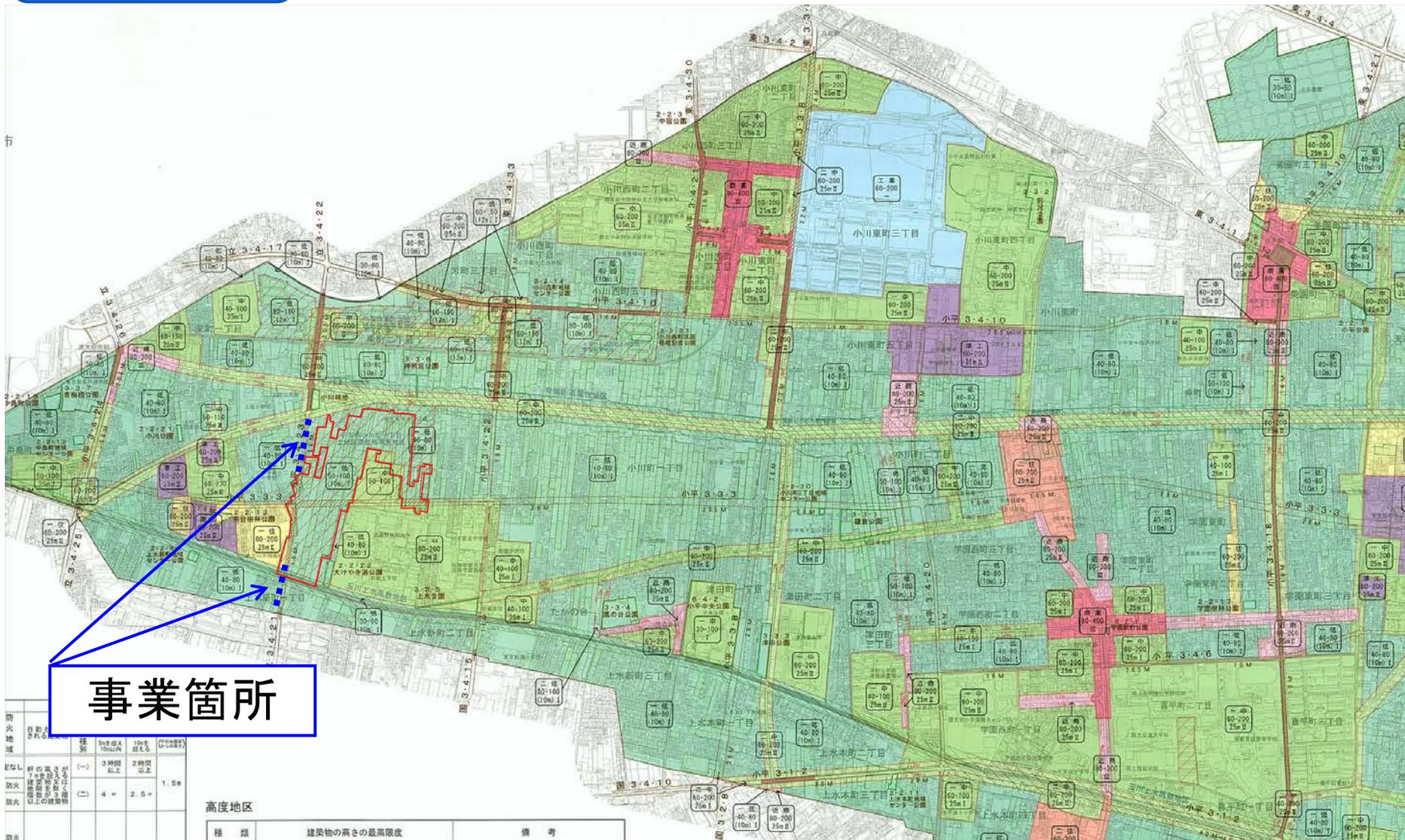
小平都市計画道路3・4・23号国立駅大和線 総延長L=1320m 幅員W=16m



※今回の事業で小平都市計画道路3・4・23号国立駅大和線の全線L=1320mが完成いたしました。

事業概要図

都市計画図



事業箇所

防火地域	第一種防火地域	第二種防火地域	第三種防火地域	第四種防火地域	第五種防火地域
防火区画	第一種防火区画	第二種防火区画	第三種防火区画	第四種防火区画	第五種防火区画
防火区画	第一種防火区画	第二種防火区画	第三種防火区画	第四種防火区画	第五種防火区画
防火区画	第一種防火区画	第二種防火区画	第三種防火区画	第四種防火区画	第五種防火区画

高度地区

種類	建築物の高さの最高限度	備考
第一種	30m	
第二種	40m	
第三種	50m	
第四種	60m	
第五種	70m	
第六種	80m	
第七種	90m	
第八種	100m	